

国際ロータリー第 2630 地区

ロータリー財団地区補助金申請書（2018-2019 年度実施事業対象）

具体的な名前をつける。

申請クラブ名	〇〇ロータリークラブ	申請月日	2019年 1月 15日
プロジェクト名	市内全域小学校にラグビーの普及を図り、ラグビー選手との交流と技術指導を行う		
申請事業の種類（ <input type="radio"/> 印）			
<input type="radio"/>	奉仕事業《平和と紛争予防/解決・疾病予防と治療・水と衛生 母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展》		
<input type="checkbox"/>	奨学金事業		
<input type="checkbox"/>	V T T 事業		
実施場所	グリーンフィールド中池〈市営グラウンド〉		
実施期間《規定・2019年7月～2020年3月》	2019年 8月 1日 ～ 2019年 9月 30日		

※最終報告書提出期日 <<規定・事業終了後2か月以内および最終締め切り4月10日>>

適合する重点分野の具体的説明と事業全体の主旨説明

地域のニーズを調査し、取り上げる。

ラグビーは低学年から取り組めること、どの子も今持っている力で楽しむ優しい学習、ゲームへの参加により豊かな運動量もたらされる事、個人差や男女差が顕在化しにくい運動である等の理由により、市教育機関においては市内全域の小学校に普及を図りたいと努力をしている。

市内の高校がラグビー全国大会の常連校でもあり、ラグビーのすそ野を広げることは地域ぐるみの希望でもあります。

ラグビーが教育機関や地域の希望で有るにも関わらず、思うように普及しない原因を調べた結果、「①、学校関係者にラグビーの指導者が少ない。」「②、ラグビーの揃った機材が学校に無い。」「③、ラグビーの練習方法や、ルールが解らない。」ことなどが上げられました。

そこで、当クラブではこれらの問題を解決することは、ラグビーの普及を願う地域の基本的教育と地域社会の発展に貢献できる奉仕プログラムであると考えます。

具体的な事業としては、地域のラグビー協会と大学ラグビー部の協力得て、小学校の先生と生徒を対象にラグビーの指導方法と効率的な練習方法のセミナーを開催します。そして、市内全域の小学校に、ラグビーの用具を寄贈し、すべての学校にラグビー部の設置と体育の授業でラグビー採用を求めて行きます。

問題点を探り、ロータリーならではの解決策を見つけ、プロジェクト化します。

財団の提唱する6つの重点項目の何に合致するかを明記する。

例会開催、寄付や贈呈だけのプロジェクトでは認められない。

プロジェクトの具体的説明

- ① まず、メンバー自身がラグビーの魅力や意義を理解する例会を開催する。
ラグビー協会メンバーによる卓話を実施する。
- ② ラグビー協会と大学ラグビー部に協力依頼と、プロジェクトの内容を協議する。
セミナーの規模、日時、場所、参加人数を協議する
- ③ 市内の全小学校にプロジェクトの意義を説明し参加を依頼する。
小学校校長会においてプロジェクトの意義、内容を説明し、各学校を訪問しセミナーへの参加依頼を行う。
- ④ 市内のグラウンドにおいて、指導方法と効率的な練習方法のセミナーを開催する。
市内のグラウンドを借りて、メンバーが線引きをしてラグビー場を設営する。
- ⑤ セミナー後、チームに分かれ練習試合を行う。
- ⑥ 後日、参加小学校にラグビーの用具一式を贈呈する。
メンバーがグループに分かれ全校を訪問し、用具を贈呈すると共にセミナーの報告をする。

ロータリアンの参加状況

クラブ会員数 49名中 49名の参加予定

例会や贈呈式への出席だけでなく、メンバー自身が汗する行動が必要です。

参加の方法と具体的な活動

- ① タグラグビーの現状調査、および、勉強会参加。(例会参加)
- ② メンバーがチームに分かれ各学校を訪問し、プロジェクトの意義の説明とセミナーへの参加を依頼する。
- ③ セミナー当日、会場を設営する。炎天下でのセミナーの為、出来るだけ多くのテントを張り熱中症対策をする。ライン引きをして、ラグビー場を3面設営する。
- ④ セミナー参加校にタグラグビーの用具を持参し贈呈する。

プロジェクトがロータリーであることの具体的な広報方法 (150字以内)

- ① セミナー会場に横断幕とロータリー旗を掛けロータリーの事業であることをアピールする。
- ② 中日新聞、岐阜新聞に記事の掲載を依頼する。
- ③ ケーブルテレビに取材と放映を依頼する。
- ④ クラブのホームページ、フェイスブックに記事を掲載する。

会場には必ずロータリー旗を掲げ、ロータリーの事業であることを解るようにする。写真や映像に必ず入るように依頼する。

協力団体	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	団体名称	〇〇市ラグビー協会、〇〇大学ラグビー部
------	--	------	---------------------

プロジェクト予算			
補助金限度額算出基準		2015-16年度の一人当たりの年次寄付額	154.0\$
(予定クラブ拠出金に対する補助金限度額 10,000\$)			
クラブ拠出金	250,000円	2272.727US\$ (@110)	
申請補助金	768,100円	6982.727US\$ (@110)	
合計	1,018,100円	9255.454US\$ (@110)	
支出予算の明細 (見積書など添付)			
費用項目	見積書・業者名	通貨	予算額
1、タグラグビーセット	(有)やよいNo. 1	円	776,920
2、会場費 グランド使用料	No. 2	円	7,560
3、講師料		円	80,000
4、講師・コーチ・大学生お弁当	No. 3	円	27,000
5、飲料水代	No. 4	円	16,300
6、看板代・横断幕	No. 6	円	85,320
7、雑費 グランド整備費用・講習会資料		円	25,000
プロジェクト予算合計		円	1,018,100
プロジェクト責任者			
氏名	〇〇〇〇	クラブ拠出金(A)地区補助金(B)プロジェクトの総額(C)の時 $A+B=C$ $B=\alpha \times A \times EREY / 100$ $A=100C / \{100 + (\alpha \times EREY)\}$ $\therefore EREY < 100$ の時 $\alpha = 1.0$ $B \leq 2,000$ $100 \leq EREY < 150$ の時 $\alpha = 1.0$ $B \leq 5,000$ $150 \leq EREY < 200$ の時 $\alpha = 1.5$ $B \leq 10,000$ $200 \leq EREY$ の時 $\alpha = 2.0$ $B \leq 12,000$	
電話 (携帯)	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
サブ責任者			
氏名	〇〇〇〇		
電話 (携帯)	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇	メールアドレス	PCのアドレス記入

クラブ承認署名

クラブは地区ロータリー財団委員会に対し、プロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。申請者の署名は、提唱者がその責任を理解し、了承したことを確認することになります。また提唱者の署名は、本申請書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

クラブ会長名	〇〇〇〇	会長署名	年 月 日
ガバナー補佐名	〇〇〇〇	AG署名	年 月 日

地区使用欄

第2630地区ロータリー財団委員長承認

地区補助金 US _____ドルを使用することを承認いたします。

第2630地区ロータリー財団委員長 平井 義之

署名 _____ 年 月 日 _____

申請年度の会長、AGの署名を記入。実施年度の会長、AGに引継ぎをしてください。